

3月度 <b>例会</b> <b>個人</b> 山行報告書		報告者		参加メンバー	CL 松浦(ソロ)
		報告日	/		
山域	奥秩父	山行日	2016/03/12		
山名	金峰山				
山行目的	雪山トレーニング		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先  
集会: 12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集  
会担当者



3/11(金)  
21:00 自宅発  
→1:00瑞牆山荘駐車場  
(車中泊)

3/12(土)  
6:00 瑞牆山荘駐車場  
→7:00 富士見平小屋  
→8:00 大日小屋  
→9:30 砂払ノ頭  
→12:00 金峰山山頂  
→13:00 砂払ノ頭  
→14:30 富士見平小屋  
→15:00 瑞牆山荘駐車場



**〈山行報告〉**

昨年秋に、奥秩父の甲武信岳、金峰山、瑞牆山縦走山行を計画したが、悪天により中止となったため残雪期に行こうと3月に計画した。11日(金): 前泊しようと金曜日の夜に自宅を出発し、瑞牆山荘の無料駐車場を目指す。長坂ICを降りてしばらく走ると山も深くなり、道路にうっすらと雪が積もっている。深夜に駐車場に到着したが、駐車場は雪で真っ白であった。たっぷりの雪に心を躍らせながらも少しだけお酒を飲んで車中泊。12日(土): 朝6時に雪で真っ白な登山口を出発する。登山者はほとんどおらず、2番目が出発となった。トレースは新雪で消えており、先行者のトレースのみがついている。富士見平小屋、大日小屋と進むにつれ雪は深くなっていき、大日小屋を過ぎた頃からはトレースを踏んでもラッセルが必要となる。砂払ノ頭を過ぎると森林限界を超えて稜線となるが、稜線は一層雪が深くなり膝上ほどのラッセルが続く。すぐに先行者に追いつきトレースのお礼を伝え、少し話をしていると後からもう一人の登山者が現れた。3人で即席パーティを組み、交代でラッセルを行いトレースをつけていく。時より腰まで埋まる程の雪に苦戦しながら、コースタイム6時間半かけようやく山頂に到着。時より青空を見せていた天気も、この頃にはガッガスになり展望は全く無いため、早急に下山開始。下山は登りの半分の3時間で駐車場に到着した。残雪登山のつもりで行ったが、まさかの深雪で難儀したが、実りある山行になった。

確認  
(リーダー)  
松浦  
作成  
(報告者)  
松浦

**〈リーダー所見〉**

深い雪のためラッセル山行になったが、即席パーティのおかげでなんとか山頂に立つことが出来た。自らの雪山山行の経験の中でも上位に入る程のラッセルを体験し、結果的にいいトレーニングになった。山頂では生憎の天気で展望がなかったのが悔やまれるため、また好天を狙って行ってみようと思う。

